



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 10 号

1990(平成2年)11月号

編集発行

(財)栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

TEL (0286) 21-0777(代)

FAX (0286) 21-0951



上河内村・羽黒山の梵天祭(とちぎのまつり百選より)

毎年11月23・24日に開催される羽黒山神社の例大祭では、五穀豊穡や無病息災などを祈願し、梵天が奉納されます。この梵天は2本の孟宗竹を縄で結び、長さ10mの一本の竹竿にしたもので、先端にはカラフルなビニールの房がつけられます。ハッピー姿に鉢巻、白足袋の若者たちが、梵天に付けられた麻縄を持ってかつぎ、掛け声をあげながら、約3kmの参道を練り歩きます。

The Brahma Festival of Haguro Mountain
(Haguro Yama Bontensai)

During a grand festival, people offer Brahma to pray a good harvest and health.

A bamboo pole which is made of 2 bamboos and ropes is regarded as Brahma. Vinyl taft is tied at the edge of the bamboo pole.

Young men who wear headbands, lively coats, and white Japanese socks carry the bamboo and shout and parade the 3-kilometer approach to the shrine.

Date : November, 23・24, 1990

Place : Haguro San Shrine

Transportation: 2min. walk from Imazato stop taking Kanto bus for Tamanyu.

今号の主な内容

- とちぎインターナショナルフェスティバル'90カメラ・ルポ
- 中国から海外技術研修員到着
- 青年海外協力隊秋募集
- TIA・インフォメーション・ボード開設

あつまれ地球人!

TOCHIGI とちぎ

11月3日(土)、宇都宮市あけほ
ルフェスティバル'90」が、秋晴
（栃木県国際交流協会と国際協
このフェスティバルは、在県
会場の緑の芝生では、各国料理
報告、パネル展、タイヤインド
披露され、外国人約700人を含む
楽しみました。



▲日本の伝統楽器の素敵な音色を
聴かせてくれた玉遠会の箏演奏



▲「椅子とりゲーム」でにぎわった
「ふれあいパフォーマンスコーナ
ー」

▶「ふれあいFree Talking」コー
ナーでは、留学生によるスピーチ、
歌などを披露



▲オープニングを飾った宮の原

▶会場を訪れた子供たちに、風船
をプレゼント



▶宇都宮北高校に留学しているワ
ラック・クラオプロトックさ
んのタイ民族舞踊



▲秋晴れの下、日本文化の
「のだて」でほっとひと息



▶メインステージで華やかな演奏を
披露した、宮の原中学校ブラス
バンド

▶美しい書体で、書道通を
うならせた中国書道作品展



▶ワッノと突然ピエロも登場。
子供たちに大人気

INTERNATIONAL FESTIVAL '90

インターナショナルフェスティバル'90

の公園で、「とちぎインターナショナルフェスティバル'90」の下、県下15交流団体の協力を得て力事業団の主催で開催されました。外国人と県民の交流をはかる目的で、コーナー、県内各国際交流団体の活動ネシアの民族舞踊など様々な催し物が約3,000人が参加し、終日文化の日を



インドネシア舞踊を披露したクリスタ・ブジャントロさん



▲国際協力事業団による、世界の様々な協力活動を写したパネル展



▲留学生や海外技術研修員とのトークトーク

▼各国料理提供のコーナーは、「ぜひ味見がしたい」という人たちがいっぱい!



▲午年にちなんで“馬”のアドバルーンも応援。子供たちもビックリ!



▼フィナーレを見事なダンスで飾ってくれた宇都宮大学ダンス部



また、来年も「とちぎインターナショナルフェスティバル」でお会いしましょう!



ようこそとちぎへ ～中国から海外技術研修員到着！

6月に来県した中南米、アジア、アフリカからの10名の平成2年度海外技術研修員（当機関紙第8号で紹介）に続き、9月に中国浙江省から4名の研修員が到着しました。

浙江省は、上海市の南に位置し、現在栃木県と友好関係を結んでいます。県内の各研修機関で学ぶ知識や技術が、帰国後、浙江省の発展に大いに貢献し、友好の絆を深めることとなるでしょう。

来年の3月まで、みんな頑張って勉強してください！



▲写真左から徐、虞、張、俞の各研修員

- ①性別 ②年齢 ③研修科目 ④研修機関
⑤みなさんへのメッセージ

▷徐 剛 ①男 ②30 ③バイオテクノロジー
④栃木県農業試験場 ⑤日本の科学技術はとても進歩していると思います。私は、中国では、農作物の種を放射線で育てる研究をしています。日本でたくさんのごことを頑張って勉強したいです。

▷虞 洪波 ①男 ②28 ③林業調査・造林設計
④栃木県林業センター ⑤栃木県国際交流協会、国際交流課、林業センターのみなさんは大変親切です。日本は科学技術が非常に進んでいます。私は一生懸命勉強したいと思います。浙江省の林業発展のために貢献するつもりです。

▷張 冰 ①女 ②29 ③日本語と日本の文学・風俗・歴史 ④宇都宮北高等学校 ⑤私は中日友好のかけ橋になりたいと思って栃木県に来ました。

研修先の宇都宮北高校では、国語、社会そして家庭科の授業に参加して勉強したり、また、栃木県国際交流協会では、翻訳の研修をしたりしています。たった一か月で、もう日本の風習にも慣れて、病気にもかからないで元気に楽しい毎日を送っております。残りの研修期間で、もっと日本の文化を知りたいと思います。

▷俞 建軍 ①男 ②33 ③キノコ栽培と育種
④栃木県林業センター ⑤長年の夢が栃木県で実現しました。世界はひとつで、科学には国境がないものだと思っています。昼間の木々鮮やかな緑、そして道路のセンターラインのまばゆい白、夜は流星みたいな車のライト…栃木県は私に強い印象を与えてくれました。素晴らしい環境や親切な人人に囲まれ、楽しい一か月間があっという間に過ぎてしまいました。



ご婚礼・ご宴会・パーティーに

センチュリー

へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り)
☎0286(48)1122

こちら国際交流最前線

学校法人 アジア学院

ーアジア農村指導者養成専門学校ー

アジア学院は、1973年の春、すべての人々がかけがえのない自然を守り、共に生きるために、また、大切なことを大切に作る生きざまとその技術を実践の中から学びとるために創設されました。

私達が当初から明白に掲げているモットーは、「人のいのちと、それを支えるたべものを大切に作る世界をつくろうー共に生きるために」です。

地球規模の人口爆発と食糧危機の重圧が最も深刻なのはアジア・アフリカで、とりわけ農村地域です。人間に不可欠な“食糧”の生産者が飢えにさらされている現状は、全人類の未来にとっての脅威です。食物を生産し、これを公正に分ち合うことは、人間の生の質に直接かかわることです。他

者のために汗を流して生きる農民リーダーの育成は、目下の急務で絶対に必要なことであり、この仕事にアジア学院は日夜取り組んでいます。

卒業生は既に40か国640名に達し、インド、バングラデシュ、フィリピン、タイ、韓国などでは、それぞれアジア学院同窓会が組織されています。同窓会員は、互いに情報を交換し励ましあいながら、地域の発展に努力しています。



▲農村指導者になるため一生懸命学ぶ生徒たち



栃木県青年海外協力隊OB会

当OB会は、青年海外協力隊としてアジア、アフリカ、中南米、南太平洋などの開発途上国で、2年間国づくりに協力したOB（県内在住）によって、昭和50年に設立されました。今年は15年目

を迎え、会員数も現在約50名です。協力隊の貴重な体験を生かし、県内の各種団体との交流を深めるとともに、世界の人達との相互理解と連携を深めつつ、国際親善と世界平和に寄与することを目的としています。

具体的な活動としては、現地隊員の活動風景を写真で知ってもらう“パネル展”や各種団体等からの依頼による講演会を通しての、協力隊員の募集啓発への協力、また、派遣隊員留守家族との連携や開発途上国からの技術研修員との交流など各種の事業を行う一方、より効果的活動を模索しています。

当OB会で役立てることがありましたら、どうぞご活用下さい。

10月13・14日、JRR宇都宮駅構内で開催された青年海外協力隊パネル展



宇都宮 ↔ 成田空港

毎日4往復 2時間50分・4,000円

直通高速バス マロニエ号

▶ 宇都宮駅西口関東チサンホテル前発 ▶ 成田空港1階入国ロビー京成カウンター前発

● 成田空港ゆきは予約制です ● マロニエ予約センター ☎0286-38-1730

関東自動車(株)

読者の広場

◆国際化の中の日本人

2年前の5月に、12年間生活したイギリスから子供2人を連れて帰国しました。今は故郷の宇都宮で、子育てをしながら翻訳の仕事をしています。海外生活をした人は、誰でも世の中の見方が変わるといいますが、私も地球を一つと考え、価値感が変わってきました。

英会話を学び外国人との交流を深めようとする人や海外子女が増え、宇都宮はこれから益々国際化していくと思いますが、住民の皆さんはどこまで外国を理解し、外国人を受け入れられるのでしょうか。例えば、西欧人は思ったことをストレートにその時点で言います。日本人はデザートを食べるように後までとっておきます。宇都宮在住の外国人もそれが困っているようです。

海外では日本語が流行しています。また、外国人が日本語を流暢に話すのを見かけます。言葉はコミュニケーションに欠かせない重要なものです。学校教育を改善させながら英語に慣れると、日本人ももっと自信をもって外国人と交流できるのではないのでしょうか。(宇都宮市・三浦万未子)

◆ガイドブックにのっていない体験

9月、私はタイの首都バンコクへ行ってきた。現地で、出発の約半月前に知り合ったタイの女性と会うことになっていた。彼女は、タイに帰って1日しかたっていないが、私の泊まっているホテルまで迎えに来てくれ、丸1日、バンコクの市内を案内してくれた。露店が軒を連ねる通りや花ばかりを販売しているフラワーマーケット…観光客があまり訪れない場所で果物を食べながら散歩もできた。

彼女との会話は英語。英会話もろくに勉強していない私であったが、何とか1日楽しく過ごせ、意志も通じあえたと思っている。要はあまり考え込まないで外国の人たちと接すること。そうすれば友人も増え、自分自身の見聞も広がるのだ。私のタイ旅行も、彼女のおかげで、パッケージツアーから一歩前進して、現地の情報をじかに触れることができた。ガイドブックにのっていない体験で、私自身の財産をまた一つ、自分の手で増やすことができたのだ。(葛生町・高島理恵)

◆「自分の人生」を実行する外国人

“国際化”という言葉が叫ばれ、また浸透して早や何年か過ぎ去った。もちろん栃木県も例外ではない。日光などは、来日したら必ず訪れる場所の一つだ。また、県内に滞在して一生懸命勉強やビジネスをしている外国人も年々増加している。国際化の波は、想像以上に早く押し寄せている。

以前、何か国かの友人と話していたとき、「今後どの様に生きていくか」という少々堅い話がでた。日本では高学歴、一流企業、それから停年まで健康で働くというのが一つの理想とされていた。しかし彼ら外国人(特に在日外国人)は、各々夢やしっかりとした目標に向かって個性を大切にしている。年齢に左右されることもあまりなく、勉強したい事柄があれば、アルバイトをしながらでももう一度学校に入る。「自分の人生」という当り前のことを実行している。

外国へ行って色々な見識を深めるのはもちろん良いことだが、県内にもたくさん外国人がいる。これらの人と交流し、率先して良い友人を作ってほしいものだ。(宇都宮市・寺門米篤)

いいものいつも…信頼のコミュニケーション



宇都宮市馬場通り4丁目1番13号〒320
■電話0286-(21)-1616(大代表)



TOPIC 外国人留学生支援事業今年度からスタート

栃木県は、9月27日(木)、宇都宮市内のホテルで「外国人留学生への支援金の交付式」を行い、引き続き「外国人留学生との懇談会」を当協会も加わり開催しました。

この事業は、今年度から始まる「外国人留学生支援事業」で、栃木県内で学ぶ外国人留学生が充実した留学生活を送ることができるように、図書

金を受け取る陳温美さん



教材費相当額を支援金として交付し、また、留学生から行政・大学等への要望や意見など聞くために懇談会を

開催するものです。

第一回目の支援金は、代表して宇都宮大学在籍の留学生・陳温美



懇談会で様々な意見交換を行う留学生

さんに、福田県民生活部長から手渡されました。続いて行われた懇談会では、栃木県と当協会の進行の下、留学生と様々な意見交換が活発に行われ、日頃留学生が考えていることを十分聞くことができました。

次回の支援金交付式と懇談会は、平成3年2月に開催する予定です。

協会日誌(1990.9.1~1990.10.31)

- 9. 2 大平町日中友好協会ぶどう交流会
- 9. 13 第30回国連中学生作文コンテスト栃木県大会審査会(日本国際連合栃木県本部と共催・協会研修室)
- 9. 25 浙江省ラジオ・テレビ訪日団団長方文他8名来県
- 9. 27 栃木県地域留学生交流推進協議会総会外国人留学生支援金の交付及び懇談会(宇都宮ロイヤルホテル)
- 9. 27 高齢移住招待者(ブラジル越山セイ)入国
- 10. 8~11 浙江省技術経済調査団団長周震武他6名来県
- 10. 16 中国語講座閉講式(南那須町)
- 10. 19 第37回国連高校生主張コンクール栃木県大会(日本国際連合栃木県本部と共催・自治会館301会議室)
- 10. 23 フランス語講座閉講式(協会研修室)
- 10. 29 高齢移住招待者帰国
- 10. 30~31 海外技術研修員県内視察見学
- 10. 31 英会話講座閉講式(栃木市)

「いまも、いつまでも、友達です」 青年海外協力隊員平成2年度秋募集

開発途上国の人々の新しい国づくりに協力している青年海外協力隊。この隊員の秋募集が下記の内容で行われます。



- ▶応募資格—20歳以上39歳まで(平成2年11月30日現在)の日本国籍をもつ青年男女
- ▶応募方法—青年海外協力隊所定の願書を協力隊事務局に提出
- ▶募集期間—平成2年11月30日(金)まで(締切日消印有効)
- ▶選考試験—第1次選考…筆記試験(技術、英語、協力隊員適性テスト) 平成3年1月6日(日)、各都道府県で実施/第2次選考…面接試験(個人面接、技術面接)及び健康診断 平成3年2月12日(火)~19日(火)のうちの1日 東京で実施
- ▶派遣期間—原則として2年間

TIA 第3期日本語講座開講

在県外国人を対象とした、平成2年度第3期日本語講座が下記のとおり開催されます。

- ▶ 期日＝12月5日(水)から毎週水曜日 全12回(年末・年始を除く)
- ▶ 時間＝18:00～19:30
- ▶ 会場＝T I A 3階研修室
- ▶ 受講料＝無料

なお、詳しいことについては、T I A (☎0286-21-0777) までお問い合わせ下さい。

—T.I.A “Japanese Class” Beginning 3rd Term—

The Japanese class for foreigners living in Tochigi will be held as follows.
Date: From December 5th, 1990 (every wednesday, 12 classes. No classes during Christmas and New Year Holidays)
Time: 18:00-19:30
Place: T.I.A. Activity room on the 3rd floor
Tuition Fee: FREE
※For more information, please contact T.I.A. at (0286)-21-0777

インフォメーション・ボード開設

T I A では、県民と在県外国人の一層の交流のために、情報交換版(インフォメーション・ボード)を設置しました。

「譲ります」「譲って下さい」「教えます」「教えて下さい」「仲間募集」など伝えたい情報を所定のカードに書き込むだけでOK。掲示は無料です。利用ご希望の方は、二者で話し合ってから決めて下さい。

ご利用ご希望の方は、T I A オフィスまでお越し下さい。

—New “Information Board” created—

We started an “Information Board” to assist communications between Japanese and foreign residents in Tochigi.
You just fill out a form: For example, “I have offer~”, “I want~”, “I can teach~”, “Please teach me~”, “I search for friends” and so on.
You can then call or write to the individual listed on the board at your convenience.
If you would like to use the “Information Board”, please come to the T.I.A. office.

編集後記

- 11月3日、「とちぎインターナショナル・フェスティバル'90」に集まった多くの県民、在県外国人で、宇都宮市あけぼの公園は終日にぎわいました。今号特集のカメラ・ルポで紹介しているように、外国人と一緒にゲームをしたり、各国料理を試食したり、会場の緑の芝生では様々な催しが行われ、身近な国際交流の輪を広げました。肩の凝らない交流は、開放的な雰囲気から生まれるものかもしれません。
- T I A では賛助会員を募集しています。色々な情報を提供いたしますので、ぜひご加入下さい。

● ご案内図

